

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 210-0862

住 所 川崎市川崎区浮島町10-8

氏 名 日本合成アルコール株式会社

代表取締役社長 守谷 治

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項（同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。）の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	日本合成アルコール株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区浮島町10-8		
該当する事業者 の要件	☒ 規則第4条第1号該当事業者		
	☐ 規則第4条第2号該当事業者		
	☐ 規則第4条第3号該当事業者		
	☐ 規則第4条第4号該当事業者		
	☐ 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	16	化学工業
主たる事業 の内容	工業用アルコールの製造		
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量	13,325	k l
	☐ 自動車の台数		台
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂

(第2面)

計 画 期 間	2019 年度 ~ 2021 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

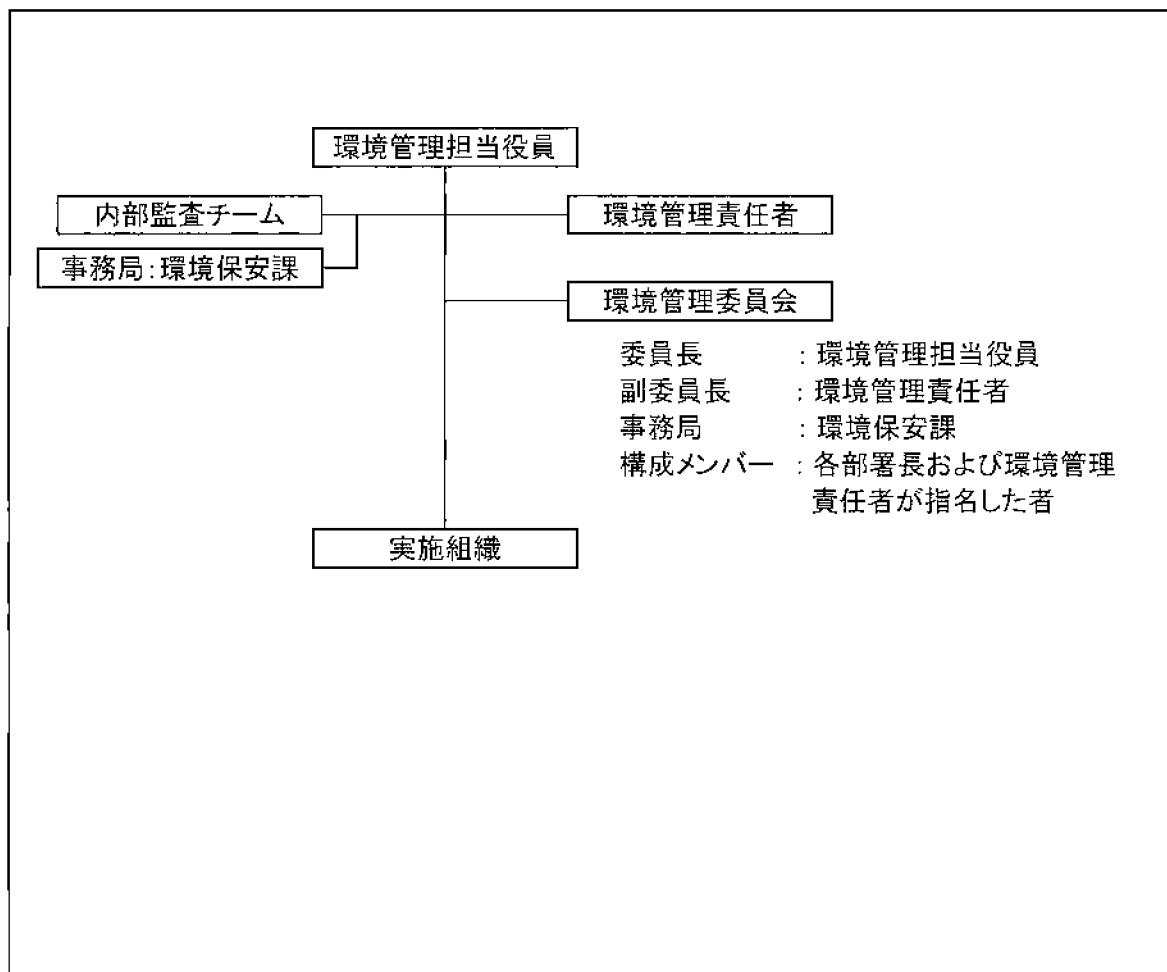
(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

1. 当社環境方針に基づき行動する。(環境方針は別添参照)
ISO14001 : 2015 取得日 : 2018/2/22 登録範囲 : 工業用合成アルコールの製造に関する事業活動
2. エネルギー使用の合理化に関する法律に基づき、当社のエネルギーを消費する設備等に係る燃料等の使用の合理化等に関する判断の基準を明確にし、運転管理および設備管理において、エネルギー消費の改善を図る。(当社「エネルギー管理要領」より)

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理 (PDCA サイクル) を行うための方針

- ①環境マネジメントシステム (EMS) に基づき、省エネ項目含めた目標設定を年度ごとに委員会 (環境管理委員会) にて決定・共有する。
 - ②①の委員会で決定された項目に関して、定められた頻度での実績の監視を行い、半期ごとに委員会での評価および計画の見直しを行なう。
 - ③年度ごとの委員会において実績の評価を実施し、その評価に基づき各項目の計画の見直しを行なう。
- 以上①～③のサイクルでの運用とする。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
基 準 年 度		2018		年度	
目 標 年 度		2021		年度	
基 準 排 出 量	(実)	25,729	(実)	(実)	
	(調)	25,587 t-CO ₂	(調)	(調)	t-CO ₂
目 標 排 出 量	(実)	24,958	(実)	(実)	
	(調)	24,948 t-CO ₂	(調)	(調)	t-CO ₂
削 減 量	(実)	771 t-CO ₂	(実)	(実)	t-CO ₂
内 訳	対策実施による削減量	(実)	771 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂
	上記以外の削減量	(実)	0 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂
削 減 率	(実)	3.0 %	(実)	(実)	%

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
原 単 位 等 の 活 動 量		生産量			
原 単 位 の 単 位		t-CO ₂ /kL			
基 準 年 度 の 値		0.4065			
目 標 年 度 の 値		0.3943			
削 減 率		3.0 %		%	

ウ 目標設定に関する説明

二酸化炭素排出量原単位を3年間で3.0%削減することを目標と設定した。
運転条件最適化および熱回収の高効率化を推進するとともに、場内照明のLED化を完了させることで目標を達成する。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容（別表第1から6等を参考に記載してください。）

計 画	・ 主要設備等の保全管理 エネルギー管理要領、EMS手順書類に基づき保全管理を推進するとともにそれらの定期的な見直しを実施する。 ・ 生産設備のエネルギー管理 運転データの解析や工程分析を活用し、運転条件の最適化を検討することによりエネルギー使用量の最適化を図る。 ・ 照明設備の新設・更新 老朽化した水銀灯、蛍光灯をLED照明に順次更新する。 ・ その他 熱回収の高効率化を推進する。
第1年度	
第2年度	
第3年度	
計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)	

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

・ 吸収式ヒートポンプによる熱回収（蒸気発生 全蒸気使用量の30%程度に相当） ・ 加熱炉の高効率化改造（対流部の伝熱面積の増加）と炉壁補修（加熱炉からの二酸化炭素排出量を6%程度削減） ・ 蛍光灯、水銀灯を更新または廃止としLED376基とした（H25-H30）
--

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検 討 結 果
太 陽 光	×	
風 力	×	
バ イ オ マ ス	×	
未 利 用 エ ネ ル ギ ー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	なし
第 1 年度	
第 2 年度	
第 3 年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	・グリーン購入の推進（EMS） ・廃棄物の減量および分別の徹底（EMS）
第 1 年度	
第 2 年度	
第 3 年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	25,729	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

13,325	K L
--------	-----

ウ 事業所の数

1

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
川崎工場	川崎市川崎区浮島町10-8	25,729 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂